

1 単元名「つないでいこう！篠籠田の三匹獅子舞」 教材名「パンフレットで知らせよう」**2 単元の目標**

- ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
〔知識及び技能〕（２）イ
- ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕B（１）ウ
- ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕B（１）オ
- ・積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとする。
〔学びに向かう力、人間性等〕

3 指導事項に合致した言語活動とその特徴

指導事項に合致した言語活動として「事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動」を位置付けた。パンフレットを作成するためには、理由や事例を明確にしながら、筋道を立てて自分の考えを述べる必要がある。また、自分の考えを、異なる立場の読み手に向けて主張する文章や、事物のよさを多くの人に推薦する文章などを書く必要がある。

これらの特徴から、この言語活動を位置づけた学習活動を展開することで「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる」という目標を達成できる。

4 単元について**（１）教材観**

本単元は、自分が課題として考えたことを伝えるためのパンフレットを作る活動である。児童は、総合的な学習の時間を通して、篠籠田の三匹獅子舞についてのアンケートを実施したり保存会の方々のお話を聴いたりする中で、その参加率の低さや後継者の不足などについて課題意識を高めてきた。そこで、篠籠田の三匹獅子舞をパンフレットのテーマとすることで、今まで身につけた知識や経験を踏まえて主体的に活動に取り組めると考えた。

パンフレット作りでは、読んでもらうことで自身の感じた課題を解決に繋げていくことを目的として、活動に取り組んでいく。また、単なる内容の紹介だけにとどまらず、読み手の意識に訴えかけられるよう、伝えたい内容を精査し、効果的に伝わるよう表現を工夫していく。

（２）児童の実態

本学級の児童は、自分の考えた物語や自分の感じたことを表現することが好きである。これまでの「物語を作ろう」や「随筆を書こう」等の書く活動では、意欲的に取り組んできた。しかし、自分の思いをまとまりなく書いてしまうため、内容が伝わりにくい文章になってしまうことが多い。そこで読み手を意識した分かりやすい文章を書く力や魅力が伝わる表現力を身につけたい。

本活動では、「三匹獅子舞をつなぐ」ことを目的にパンフレット作りを行う。既存のパンフレットから効果的な表現の工夫に着目させ、パンフレット作りを通して、目的に応じて考えを効果的に伝えるための表現や構成の工夫について理解するとともに、構成や絵などを工夫して読み手に自分の伝えたいことが明確に伝わるように書くことができるようにする。

（３）指導観

第一次では、パンフレット作りという活動に見通しを持って取り組めるようにする。既存のパンフレットを提示し、パンフレット作りへの意欲を高めていく。

第二次では、最初にパンフレットを作る目的や、パンフレットのターゲット層となる相手を想定することで、取り組むことを明確にし、意欲付けできるようにする。その上で、各ページに必要な内容について話し合い、ページの分担ごとにグループに分かれて、レイアウトなどについて意見を交わし、パンフレットの素案を作る。その後、それぞれのグループでページを書き上げる活動に移る。本時では、出来上がってきたページを持ち寄り、他のグループの児童と推敲し合う活動を取り入れる。その際、より良いアドバイスを行えるようにする手立てとして、児童の気づきをもとにした「推

敲のポイントチェックシート」を用いることで、推敲の視点を明確にする。

第三次では、完成したパンフレットを読み合う活動を設ける。パンフレットの対象が異なっている他のクラスのパンフレットも読み合うことで、パンフレットを作る上で重要なことを振り返る契機ともしていきたい。

○研究主題との関連について

本単元では、総合的な学習の時間と関連付けることで、篠籠田の三匹獅子舞を繋いでいくために必要なことを主体的に考え、パンフレットという形で発信するという明確な目的意識を持ちながら学習に臨めるようにしている。活動の中で、グループの友達と意見を出し合ったり他のグループの児童と推敲し合ったりすることを通して、対話的な学びを深めていく。

○他教科との関わり

総合的な学習の時間では、篠籠田の伝統である三匹獅子舞について、インターネットで集めた情報や保存会の方々の話から、知識を深めている。また、獅子舞を未来の篠籠田に繋いでいく上で課題になると感じたことを解決するために、どのような方法があるか、できることはあるか、意見文を書いて考えをまとめてきた。本単元に至るまでに高まった課題意識を、パンフレット作りの意欲へと昇華させられるようにしていきたい。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 ((2) イ)	① 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしていると同時に、事実と感想、意見を区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き方を工夫している。 (B (1) ウ) ② 「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 (B (1) オ) ③ 「話すこと聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 (A (1) オ)	① 積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとしている。

6 指導と評価の計画（10時間扱い）

学習過程	時間	学習内容・学習活動	評価規準・評価方法等
一次 (見いだす)	1	○パンフレット構造を理解する。 ・学習の流れを確認する。 ・どんなパンフレットが良いのか考えて、基準を明確にする。	〔主体的に学習に取り組む態度〕 <発言>

二次 (自分で 取り組む) (広げ 深める)	2・3	○発信したい相手と、掲載内容について話し合う。 ・発信したい相手によって、載せる内容や必要な情報が異なることを押さえる。	並行学習 総合的な学習の時間 「さくらんぼ田の三四獅子舞」	[思考・判断・表現] ③ ＜発言・プリント＞
	4	○内容の精選をする。 ・必ず掲載したい情報や、要約する必要がある内容などを精選できるようにする。		[思考・判断・表現] ① ＜発言・プリント＞
	5	○パンフレットのレイアウトを考える。 ・文字の大きさなどを工夫し、読み手にアピールできるような配置を意識させる。		[思考・判断・表現] ② [知識・技能] ① ＜発言・コラボノート＞
	6・7	○項目ごとの内容を作成する。 ・レイアウトに合わせて、読み手に伝えたい情報がきちんと伝わるような文章構成を考え、作成する。		[思考・判断・表現] [知識・技能] ① ＜発言・パンフレット・コラボノート＞
	8 (本時)	○各ページの推敲，修正を行う。 ・グループに分かれ，ポイントチェックシートをもとにパンフレットの推敲を行う。 ・持ち帰ったチェック表をもとに修正を行う。		[思考・判断・表現] ③ ＜発言・コラボノート＞
	9	○仕上げをする。 ・各自で担当した部分の推敲と最終チェックを行う。		[思考・判断・表現] ① ＜発言・コラボノート＞
三次 (まとめ あげる)	10	○振り返る ・各クラスで作成されたパンフレットを読み合う。		[主体的に学習に取り組む態度] ① ＜振り返りカード・発言＞

7. 本時の指導

(1) 本時の目標 (8 / 10)

・「話すこと聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。
〔思考力、判断力、表現力〕A (1) オ

(2) 展開

過程 時配	学習内容と学習活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	備考
導入 (見いだす) 3分	1 本時の課題をつかむ。 ・パンフレットで何を1番伝えたいかを確認する。	○前時までの学習を振り返りながら、本時のめあてを確認する。	
	読み手に三匹獅子舞の良さが伝わるパンフレットになるよう推敲しよう。		
展開 (自分で 取り組む) 7分	2 パンフレット (エラーモデル) をもとに読み手に伝えるために大切なことは何かをグループで話し合う。	○どうすればより良いパンフレットができるのか、エラーモデルを参考に、推敲する視点を明らかにする。	パンフレット
	3 自分たちのパンフレットで伝えたいことが伝わるか確認をする。 ・自分たちのページを読み返し、苦労したところやアドバイスが欲しいところに印をつける。	○推敲するためのチェックポイントが記されたプリントを各児童に配付する。	チェックポイントのプリント パンフレット
(広げ 深める) 30分	4 他の内容のグループと意見交換をする。 ・自分たちのグループの伝えたいことが、相手に伝わるかどうか互いに評価する。	○もらった助言を必要に応じてメモさせる。	
	5 自分のグループに戻り、構成や内容を再検討する。 ・もらった助言や他グループのアイディアを共有して、整理・分析をする。 ・次時に向けて、構成の検討をつける。	○アドバイスを参考にしながら、どの方法が伝えたい相手に一番伝わるか、内容を精選するように伝える。 ◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。 〔思考・判断・表現〕＜発言・推敲＞	コラボノート
まとめ (まとめ あげる) 5分	6 まとめをする。 ・本時の学習を振り返る。 ・振り返りシートに推敲し合ったことでのような変化があったのかを書かせる。	○どんな視点でみるのが大切なのか、もらったアドバイスで参考になったことは何なのかについて助言する。 ○推敲の時間を通して、自分たちのパンフレットがより良いものになったかどうか振り返り、次時への活動の意欲につなげる。	振り返りシート

(3) 板書計画

チェックポイントシート	パンフレットの例	読み手に三匹獅子舞の良さが伝わるパンフレットになるよう推敲しよう。	つないでいこう 三匹獅子舞
--------------------	-----------------	--	----------------------

(4) 評価

- A：パンフレットを読み合う中で、相手や目的を意識した表現になっているかを確認め、構成や内容を良くするために話し合い、よりよいパンフレットになるように考えを広げたりまとめたりしている。
- B：パンフレットを読み合う中で、相手や目的を意識した表現になっているかを確認め、構成や内容を良くするために話し合うことができる。
- C：パンフレットを読み合う中で、相手や目的を意識した表現になっているかを確認め、構成や内容を良くするために友達の意見を聞くことができる。